

令和3年9月6日

校長先生のお話

全力で頑張る

あいさつをします。小さな声でしましょう。

延長された夏休みも終わって、今日から学校が始まりました。ただ、4・5・6年生は、今週は分散登校です。クラスの全員には会えないので少し寂しいですが、もう少し我慢してください。ただ、オンラインでは会えると思います。

よかったことは、とても長い夏休みでしたが、夏休み中の感染、交通事故、大きなけがや病気の連絡が一つもありませんでした。皆さんが気を付けて生活していたからだと思います。このことが一番です。

さて、今年の夏休みはどうでしたか。今年の夏休みは、何と言っても東京オリンピック・パラリンピックではなかったでしょうか。出かけることができなかったので、校長先生も家でよくみていました。今までのオリンピック・パラリンピックの中で一番見たと思います。

8月26日と27日には代々木競技場に車いすラグビーを見に行った人もいます。校長先生も行きました。迫力あるプレイもよかったのですが、迎えてくれたボランティアや係の人の温かな笑顔に感激しました。開会式の入場行進の時のように、ボランティアの人たちが手を振りながら笑顔で迎えてくれました。すごくうれしく思いました。「おもてなし」の心を感じました。こうした方々にオリンピックやパラリンピックを支えていただいているのだと感謝の気持ちがたくさん湧いてきました。

それから、オリンピックやパラリンピックの競技を見て、勝っても負けても、泣いている人が多いことを感じました。試合やレースに勝ってうれしくて泣いている、負けて悔しくて泣いている姿がたくさんありました。今まで一生懸命練習してきた全力を出し切ったからこそ、勝っても負けても泣くのだと思います。適当にやっていたら涙は出ません。皆さんにも勝っても負けても泣くような経験をしてほしいと思います。そのためには運動でも勉強でも全力で取り組まなくてはなりません。まずは運動会です。勝って泣くぐらいうれしい、負けて泣くぐらいくやしくなるぐらীগんばってください。

学校での感染が心配です。マスク、手洗い、ソーシャルディスタンス、そして、換気に気を付けてください。それからもう一つ、お父さんやお母さん、兄弟など一緒に住んでいる家族に熱が出るなど具合が悪くなったときは、自分は元気でも念のため学校を休むようにしてください。その場合休んでも「欠席」にはなりません。「多分、大丈夫」ではなく「もしかしたら」と注意深く考えて感染を防ぎましょう。

それでは、今週も感染に気を付けながら、元気に仲良く過しましょう。